

## 【農作業中の事故に関する救急統計について】

秋の農繁期を迎えるにあたって、農作業中の事故防止を図るため、管内の過去5年間（2016年から2020年まで）における農作業中の事故に関する救急統計を取りまとめましたのでお知らせします。

管内では過去5年間に農作業中の事故によって163人が救急搬送されており、各項目別の統計は以下のとおりです。

### <事故区分>

「転倒・転落」・・・田畑等を歩行中又は作業中に転倒・転落して怪我を負ったもの。

「チェーンソー・草刈機等」・・・チェーンソーや草刈機で直接的に切創等を負ったもの等。

「トラクター等の横転等」・・・トラクター、コンバイン等が横転する等して怪我を負ったもの。

「ハチ刺され」・・・農作業中にハチ刺されにあったもの。

「農機具への巻き込まれ等」・・・農機具への巻き込まれ、挟まれ等によって怪我を負ったもの。

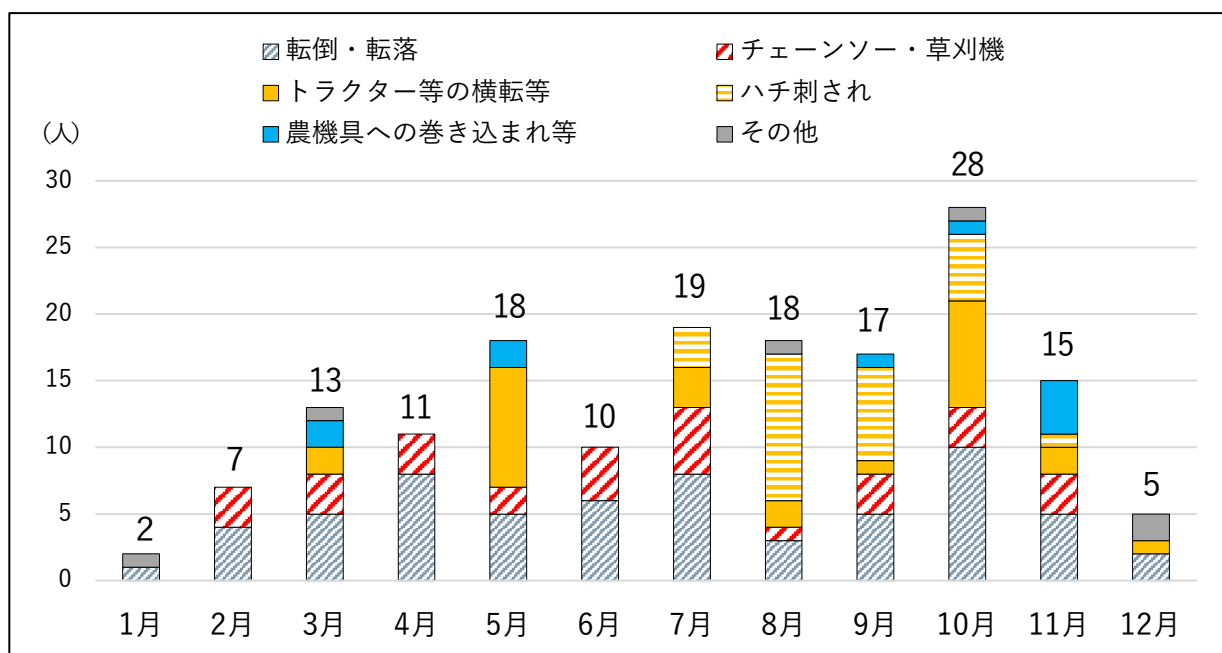
「その他」・・・上記のいずれにも該当しないもの。（農作業中にマムシに咬まれ怪我を負った事例等）

※ 小数点を含むものは、小数第二位を四捨五入した数値。

### 1 発生月別の救急搬送人員

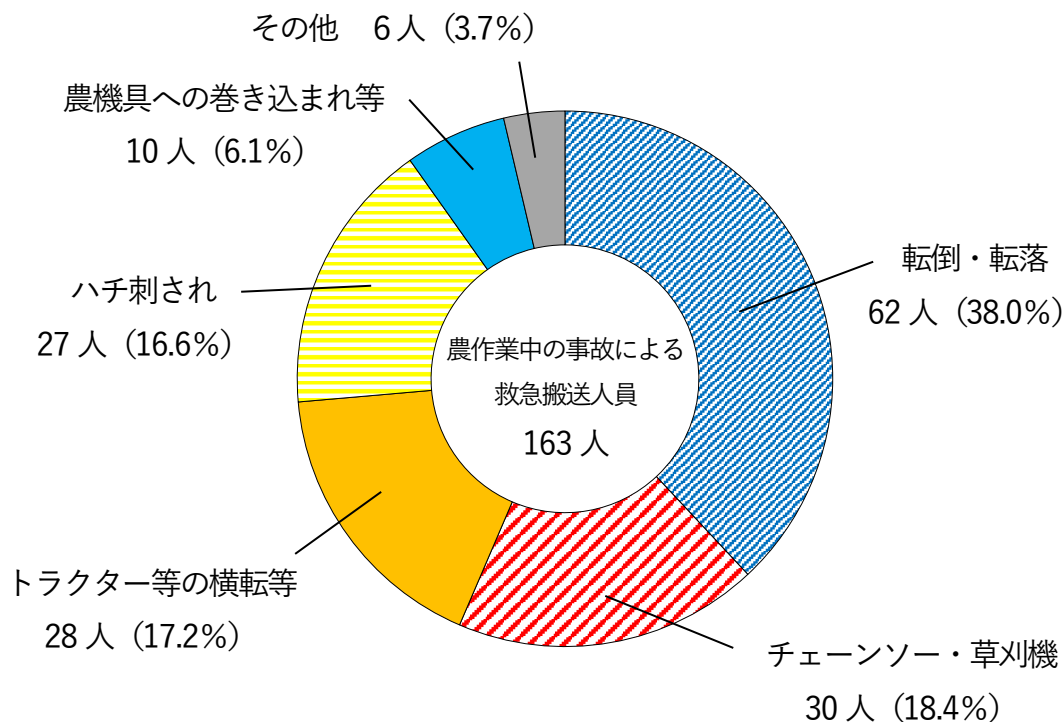
発生月別の救急搬送人員をみると、「10月」が28人で最も多く、次いで「7月」が19人、「5月」と「8月」が18人と続きます。

事故区分では、「トラクター等の横転等」は「5月」と「10月」に、「ハチ刺され」は「7月」から「10月」の期間に集中していることが分かります。



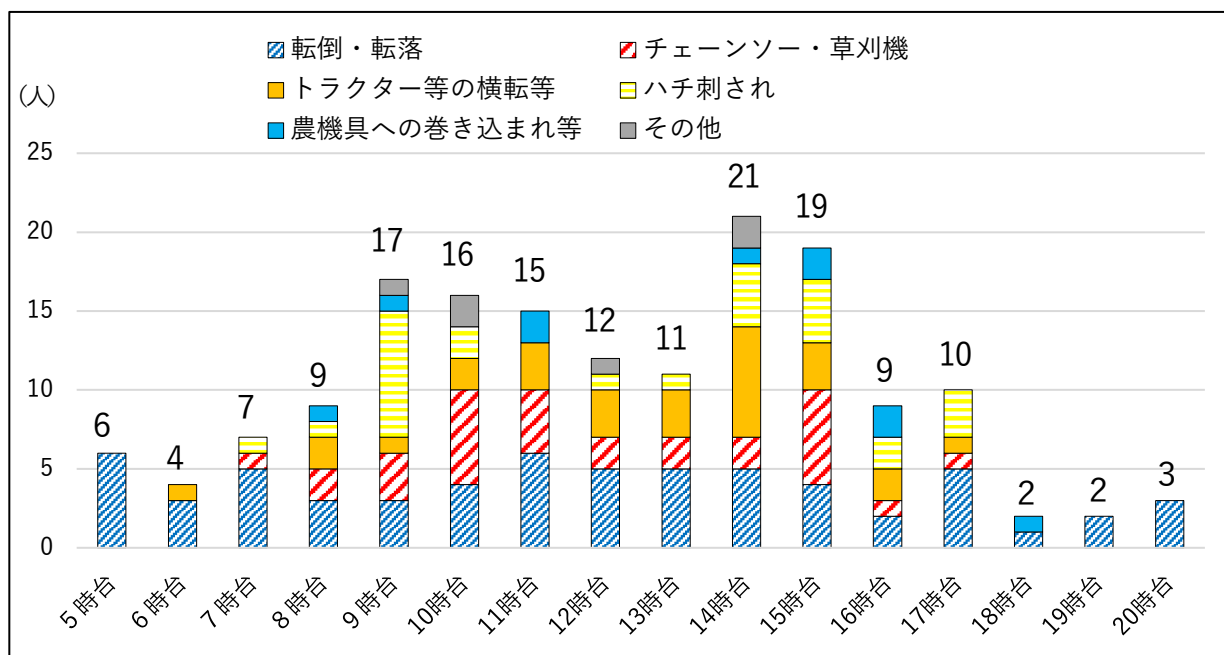
## 2 事故区分別の救急搬送人員

事故区分別の救急搬送人員をみると、「転倒・転落」が62人（38.0%）で最も多く、次いで「チェーンソー・草刈機」が30人（18.4%）、「トラクター等の横転等」が28人（17.2%）と続きます。



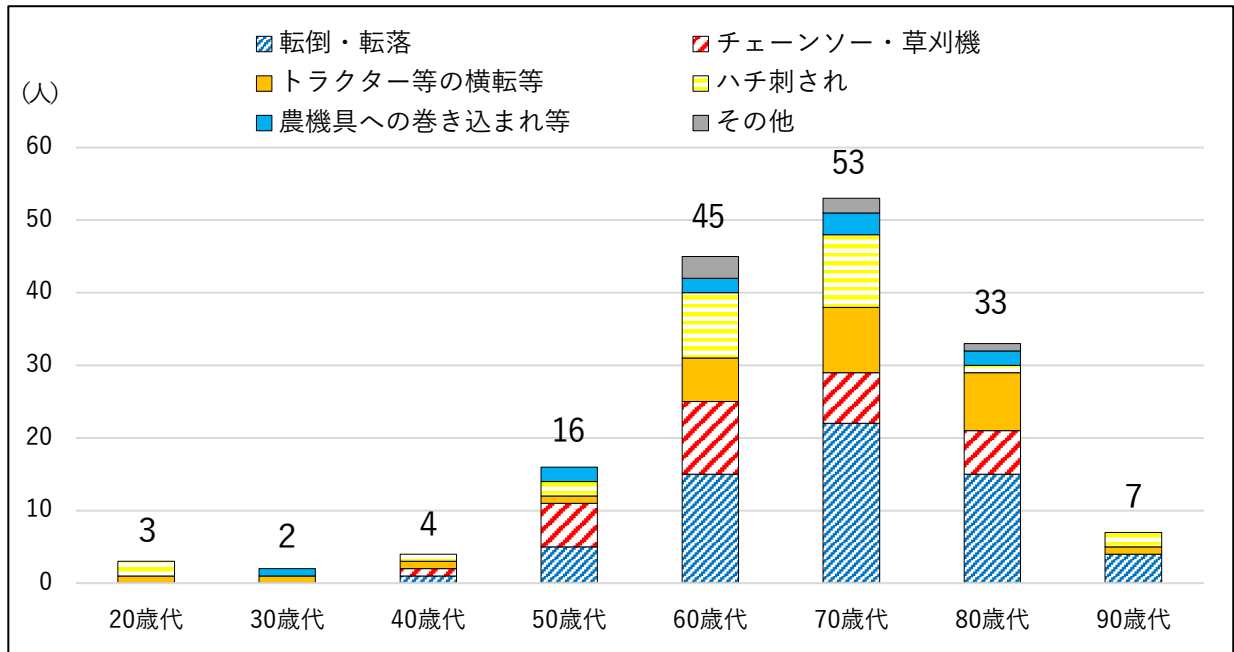
## 3 発生時間帯別の救急搬送人員

発生時間帯別の救急搬送人員をみると、「14時台」が21人で最も多く、次いで「15時台」が「19人」、「9時台」が17人と続きます。



#### 4 年代別の救急搬送人員

年代別の救急搬送人員をみると、「70歳代」が53人で最も多く、次いで「60歳代」が45人、「80歳代」が33人と続きます。



#### 5 傷病程度別の救急搬送人員

傷病程度別の救急搬送人員をみると、「軽症」が74人（45.4%）で最も多く、次いで「中等症」が62人（38.0%）、「重症」が24人（14.7%）、「死亡」が3人（1.8%）と続きます。

